

埋文ふじのみや

MAIBUN

Vol.5



令和に、
あえて縄文。

五領ヶ台式土器

ついに幕開けした新時代、令和。いくら時代が新しくなっても、歴史から学ぶ姿勢は大切にしたいものです。そこで、埋文だよりでは引き続き市内の縄文遺跡を特集。『温故知新』をキーワードに、約7,500年前にタイムスリップ！

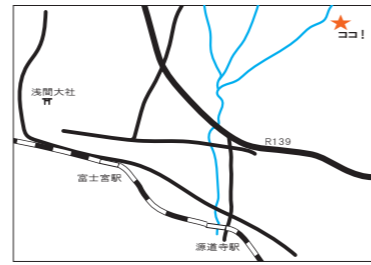
縄文早・前
中・後期

箕輪A・B遺跡

みのわエー・ビーいせき

富士宮市小泉

調査年 /
1979年・1980年
1981年



縄文前期と後期の 竪穴住居跡

箕輪遺跡は、大岩明倫保育園の北側の山裾に広がり、中央の小川を挟んで西側をA遺跡、東側をB遺跡に分けています。B遺跡では、縄文早期前半の集石土坑跡2基と炉穴跡1基、さらに前期前半(7,500年前頃)の清水ノ上式土器を伴う3.5m×3.0mほどの竪穴住居跡が1棟見つかりました。A遺跡では、縄文後期前半(4,000年前頃)の堀之内式土器をもった径4.5mの円形竪

穴住居跡が1棟見つかりました。住居内は壁際に板状の割石を並べ、柱穴・炉とも整然と築かれ、典型的な縄文住居の佇まいを見せています。両遺跡の竪穴住居跡は本市にとって、それぞれの時期の唯一の例となります。他に中期(4,500年前頃)の井戸尻土器や曾利式土器が集中して出土する地点もあり、かつて「岳南三大遺跡」と呼ばれた威容を垣間見ることができます。

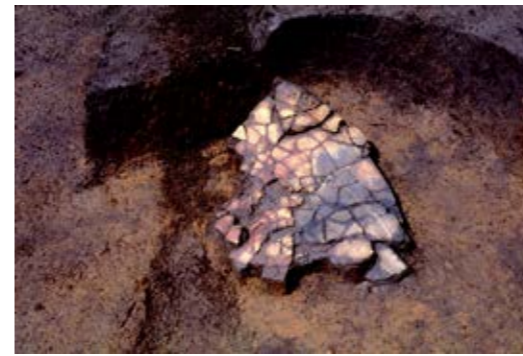
報告書 / 『富士宮市の遺跡』1993年
『箕輪A遺跡』2001年



箕輪A遺跡後期竪穴住居跡



箕輪B遺跡発掘調査区全景 (手前 前期竪穴住居跡)



清水ノ上式土器出土状況



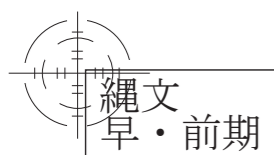
清水ノ上式土器 (尖底土器)



井戸尻式土器



曾利式土器



Kozuka A 小塚 A 遺跡

こづかエーいせき

富士宮市西山

調査年 /
1971年・1981年
1992年・1994年



縄文前期の集落

小塚A遺跡は、羽鮒丘陵の西側斜面の平地に旧石器時代から縄文早・前期にわたって営まれた芝川地区を代表する遺跡です。縄文早期中頃（7,500年前頃）に、押型文土器を伴う集石土坑跡が見られ、その後、前期（6,000年前頃）に至り2棟の竪穴住居跡や陥し穴跡・土坑跡が築かれています。竪穴住居跡は径4～5mのほぼ円形で、第2号住居跡の床面から蠟石で作られた耳飾り（環状耳飾）が見つっています。

縄文前期の諸磯式土器の出土量は市内の同時期の遺跡を圧倒しています。

報告書『駿河小塚』1972年
『（駿河）小塚遺跡第2次調査報告書』1981年
『小塚遺跡3次・4次』1995年
『小塚遺跡5次』1995年



第2住居跡完掘



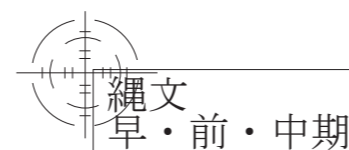
環状耳飾の出土状況



環状耳飾



諸磯式土器・北白川下層式土器（下左2点）



Daikan yashiki 代官屋敷遺跡

だいかんやしきいせき

富士宮市小泉

調査年 /
1978～80年
2009年



早期の調理場と前期の竪穴住居跡

代官屋敷遺跡は、西富士道路の入口の小高い丘陵に広がる縄文早期・前期の遺跡です。遺跡の北隅と南隅に早期の集石土坑跡14基や集石跡が見られました。約1m程の坑に集められた礫は火を受けて赤く変色しており調理の場であったことが想定されます。周辺に住居跡が見当たらず、他の早期遺跡も集石土坑跡が単独で出土する例が多いことから、調理場と居住地が別であったことが考えられます。前期の竪穴住居跡は方形の住居が1棟見つかりました。前期後半に特徴的な住居形態で、関東地方の諸磯文化圏が当地にも及んでいたことがうかがえます。他に中期初頭（5,000年前頃）の五領ヶ台式土器をもった竪穴住居跡が見つっています。

報告書『代官屋敷遺跡』1982年
『代官屋敷遺跡Ⅱ』2010年



集積土坑跡と遺物出土状況



中期竪穴住居跡完掘（五領ヶ台期）



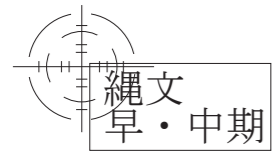
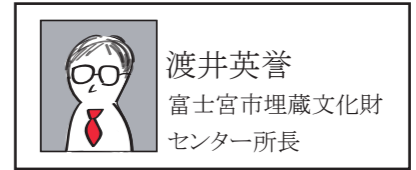
五領ヶ台式土器



楕円押型文土器



諸磯式土器



Kamiisshiki 上石敷遺跡

かみいっしきいせき

富士宮市小泉

調査年 /1981 年



遺跡から富士宮の原始・古代を考える 邪馬台国時代の富士宮

IV. 邪馬台国前夜③

黒田小学校の南側に広がる月の輪上遺跡は、2世紀の前半に登場する遺跡で、集落の周りを溝が巡る環濠集落とその外側に展開する2つの集落（ムラ）が確認されています。発掘調査では、竪穴建物、掘立柱建物が見つっています。それらは、住居と思われる竪穴住居、納屋かと思われる小竪穴遺構、倉庫となる1間×2間の掘立柱建物、小型の掘立柱建物などからなるものでした。

この月の輪上遺跡で見ついているムラは、建物がそれぞれの用途に応じて建てられ、竪穴住居4~5軒に対して、倉庫が1棟の構成となっていました。この構成から、倉庫や納屋を共同で管理していた様子が分かるのです。



月の輪上遺跡全体図

弥生時代は、稲作文化が中国大陸から入ってきたことにより成立するものと考えられていますが、それは、共同で灌漑施設を整備し、一年を通じて稲の栽培を一連の作業として行う生活の成立を指すものでもあります。弥生時代の終わり頃の月の輪上遺跡では、建物の配置から共同生活の様子がうかがえるものなのです。

そして、ムラを取り囲む溝の存在です。ムラを溝で囲む「環濠集落」は、敵からの侵入を防ぐために、溝を巡らせたものと言われていますが、その囲まれた中で、ムラの生活が成り立っていたのです。住むための家、お米などの穀物を貯蔵した倉などがあり、ムラを治めた村長の住まいもその中であつたと考えられます。つまり、倉庫を持つ何軒かの家がグループとなり、日常的な生活が行われ、その中に村長の生活の領域もあつたのです。

この時代において、地域を治めた首長（村長）が住む独立した住まいの登場を見ることは、まだできないのです。



竪穴住居跡の出土土器

が据えられていました。また、集石土坑跡は焼土が積まれたり、大きな偏平石を蓋にするなど、明らかに祭祀的構造が感じられます。そこから北に20mほど離れて径4m程の円形竪穴住居跡が見つっています。5本の柱穴と中央には中期中頭の五領ヶ台式土器の胴部が埋甕炉として据えられていました。

報告書『上石敷遺跡』1985年

中期中頭の竪穴住居跡

上石敷遺跡は、富士根南公民館の南側の緩やかな斜面に縄文から弥生・古墳・古代と続く複合遺跡です。縄文早期の集石土坑跡3基の上層に中期の集石跡3基と集石土坑跡3基が築かれていました。集石跡は5~6mの範囲に礫が散らばってなり、そのうちの1基には人為的に壊された土偶



破壊された土偶



埋甕炉（五領ヶ台式土器）



中期中積土墳跡



中期中竪穴住居跡



住居跡内埋甕炉出土状況

次号の案内

富士宮市内で見つかった

縄文時代の遺跡特集 3

富士宮市の見どころ案内 6月～8月の予定

芝川日和「梅の里」稲子まつり 6月16日（日）

稲子特産の梅をたっぷり堪能できるイベント。あまごのつかみ取り、四ツ竹が鳴り響く「芝川おどりコンテスト」も開催します。行き帰り1便ずつシャトルバス運行（富士宮駅⇄会場）。

場所・問い合わせ先：新稲子川温泉ユース・トリオ 0544-66-0175

富士山お山開き 7月10日（水）

富士登山の幕開けを告げる一日。富士山本宮浅間大社におけるお山開き浅間、村山浅間神社での正式参拝のほか、日英親善交流事業、手筒花火の披露などがおこなわれます。

問い合わせ先：富士山お山開き実行委員会 0544-27-5240

第40回富士山御神火まつり 8月3日（土）

毎年8月の第一土曜に開催される炎の祭典。御神火を点火した神輿・計8基が、市内の商店街を練り廻し、最後に神田川の水流を遡る（『神田川昇り』）様は必見。

問い合わせ先：富士宮市役所観光課 0544-22-1155

第28回宮おどり 8月4日（日）

市民約6,000人が参加し、市内の目抜き通りは昼から夜にかけて踊り一色に。関連して、2日（金）～4日（日）にかけ、本町商店街にて「七夕まつり」も開催されます。

問い合わせ先：富士宮商工会議所 0544-26-3101

富士宮市埋蔵文化財センター

ご利用案内

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室

開館日 平日

* 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

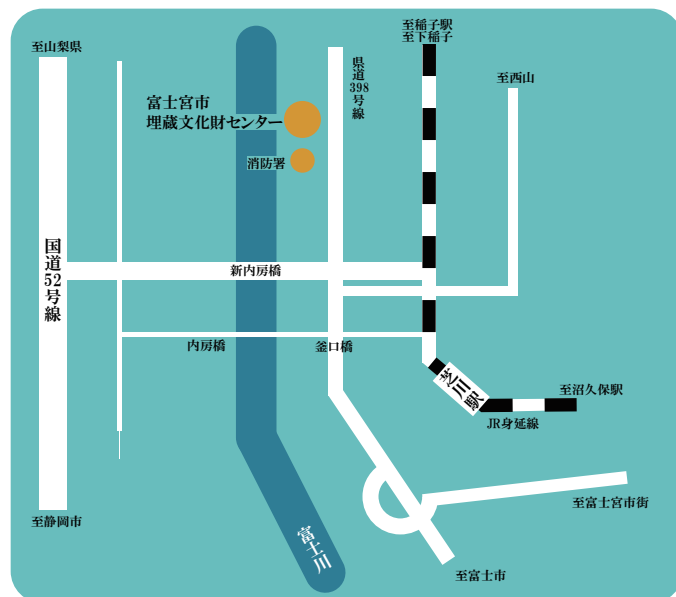
* 埋蔵文化財センターの業務時間は
8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）



交通案内



富士宮市埋蔵文化財センターだより
埋文ふじのみや Vol.5

令和元年6月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター